

昭和16年	帝国海軍厚木分遣隊（仮称）設立委員会設置
昭和19年	第302海軍航空隊、木更津から移転
昭和20年 8月15日	終戦
8月28日	連合軍先遣隊（指揮官：テンチ大佐）148名到着
8月30日	連合軍最高司令官ダグラス・マッカーサー元帥到着
9月2日	米軍によって正式に接收され、キャンプ座間の資材置き場として使用されるなど、米陸軍の輸送基地としての任務を担う（飛行場としては使用されず）
昭和25年10月25日	第7艦隊所属艦載機の修理、補給及び偵察基地として「米海軍厚木航空基地」が発足
12月1日	朝鮮戦争の勃発に伴い、米海軍航空基地として滑走路等の建設復旧に着手
昭和27年 4月26日	海上警備隊創設
昭和27年 8月1日	警備隊創設
昭和29年 7月1日	防衛庁創設 陸上・海上・航空自衛隊創設
昭和36年 9月1日	航空集団新編（千葉県下総基地） 第3航空隊新編（鹿屋：第1航空群） 第51航空隊新編（八戸：第2航空群）
昭和37年 9月1日	第4航空群新編（千葉県下総基地） 第3航空隊編入（鹿屋から） 第4支援整備隊新編
昭和43年 6月26日	硫黄島航空基地分遣隊新設（小笠原諸島返還）
昭和46年 6月25日	日米合同委員会において、厚木飛行場の一部を自衛隊に移管することが合意される
6月29日	航空管制権が自衛隊に引き渡される
7月1日	海上自衛隊が飛行場の維持運営にあたり、共同使用が開始名称も「海上自衛隊厚木航空基地」「海軍航空施設」となる
12月20日	第61航空隊新編（航空集団に編入）
12月24日	厚木航空基地分遣隊が新編
昭和48年10月5日	米海軍第7艦隊所属空母ミッドウェーが横須賀を母港とし、厚木基地が艦載機の母基地となる
10月16日	航空管制隊新編（航空集団に編入） 厚木航空基地隊新編（厚木航空基地分遣隊廃止）
12月25日	千葉県下総航空基地から、航空集団司令部と第4航空群が移駐
昭和56年10月31日	厚木プログラム業務分遣隊新編
昭和58年 3月30日	P-3C配備に伴い、第6航空隊新編
平成4年 4月10日	硫黄島航空基地隊新編（硫黄島航空基地分遣隊廃止）
平成10年12月8日	第4整備補給隊新編（第4支援整備隊廃止）
平成14年 3月22日	航空プログラム開発隊新編（開発隊群に編入・厚木プログラム業務分遣隊廃止） 厚木システム通信分遣隊新編（横須賀システム通信隊に編入）
平成19年 1月9日	防衛省へ移行
平成20年 3月26日	第3航空隊改編（第6航空隊廃止）
平成23年 9月1日	航空集団創設50周年
平成24年 9月1日	第4航空群創設50周年
平成26年12月26日	C-130R第61航空隊へ配備
平成27年 3月23日	P-1第3航空隊へ配備
平成29年 8月29日	第3航空隊のP-3C 2機が装備替えになり運用機がすべてP-1となる